

消費者と提携し地域農業を守る

下郷農協



2018

7 No. 677

January

迎春



下郷中心地の町並み

新春座談会 (P4~P8) の会場 陶cafeしきろ庵のご夫婦と



謹んで初春のご挨拶を

申し上げます

代表理事組合長 矢崎 和廣



新しい年を迎え、組合員・消費者・地域のみなさまにおかれましては穏やかにお過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、農協の事業運営にご理解ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

創立七十年、判断の年

一九四八年（昭和二十三年）設立の下郷農協は、今年五月に創立七十年を迎えます。

設立当時、大分県には三〇三の農協が設立されましたが、その後広域合併や閉鎖の中にあつて、一度も合併せずに存続してきた農協が七十年を迎えます。

県下では、下郷農協の他に、二つの農協が一度も合併せずに、それぞれ地域に根ざした農協として、その特色を発揮しながら維持、発展してきました。

ただ、政府が進める「農協改革」や系統内での「自己改革」の中では、独自性や思いだけでは立ち行かない波が押し寄せているのも現実です。

これまで先人の方々が守り発展させてきた下郷農協を、どのように継続し農協としての役割を果たしていくのか、その判断を求められる重要な年となると考えています。

成年は本体守りスタートの年

今年「成年」です。辞書では「戌」は「滅びる」を意味する「滅」で、草木が枯れる状態を表しているという見方もありますが、実際は「植物が育ち、花が咲き、実をつけ食べごろが過ぎた後、自分の実を落として本体の木だけは守る」のが成年だと言われています。

そして、犬はお産が軽い事からお産に吉な年であり、そこから「新たに何かを産むという意味でもあるのでスタートの年」とも言われています。

積極的に打って出るところは削る打って出て、削るところは削る

という判断の中で、「組合員と農協」という基本部分を守っていかねばなりません。

打って出るところでは、準備を進めてきました新商品「飲むヨーグルト」の施設整備が、ようやく完了の見込みです。何としても早期に軌道に乗せ、その事が組合員をはじめ職員や他の生産にも刺激となり、前進の一步となるように全力を尽くすとともに、まさにそのスタートの年となるものと確信しています。

存在意義の発揮で

農協潰しに屈しない

畜産をはじめ、コメ・野菜など生産の状況は厳しい傾向にあります。取り組んでいる新規就農者の募集・確保も厳しい環境ですが、数名が新規に野菜生産を始めたり、黒豚については、後継者が今年Uターンにより就農する予定となるなど明るい話題も出てきました。引き続き、地道に声掛けや情報提供しながら生産の拡大につながるよう努力して参ります。

今年度事業の基本方針「組合員・消費者、地域に必要とされる農協」となるように、先ずは農協の体力をつけ、生産拡大に繋がる支援もしながら、結果として地域にも貢献していける農協の役割を発揮します。その事が「農協改革」という

農協潰しにもしっかりと対応していけると思いますが、農協に関わる多くの方々から「下郷農協が無くなると困る」と言っていただけの事以上の農協の強みはありません。

政府は平成三十一年を目前にそれぞれの農協で掲げた「自己改革」が実行されたかの検証をし、その結果如何によっては「准組合員規制」という農協潰しの切り札を施行します。多くの農協が、金融や共済の事業利益が農協全体の経営の柱となっている中で、「准組合員規制」が実施されることは総合農協としての体をなさなくなり、その存続自体が厳しくなる事を意味します。

下郷農協は「組合員が主人公の農協運営」を基本とし、消費者と提携した産直を通じた経済事業で生き残っていく道を追求し、地域においても存在意義をしっかりと発揮して行きます。

小さい農協の生き残りは決して楽な環境下ではありませんが、今年一年、農家組合員の営農と暮らしを守り、地域が少しでも発展する中で、農協も事業計画が達成出来るよう、精一杯頑張っていく所存です。

組合員、そして消費者の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。今年もどうぞよろしくお願致します。

「近代とは何か」「人間とは何か」

『水俣病展』に農協女性部員・役職員が参加

十一月十六日から十二月十日まで熊本県立美術館分館で開催された、グリーンコープ生協・認定NPO法人「水俣フォーラム」主催の『水俣病展2017』に、下郷農協女性部員や役職員二十八名が参加しました。

いまや環境汚染の国際的シンボルとなった水俣病は、発生が確認されてから六十年を越す今日に至っても新たな患者からの申請が続き、今なお解決したとは言えない状況で、福島原発のメルトダウン以降次々と起る問題は、この国がいかにか「水俣」から学んでいないか痛切に物語っています。

この事件についての展覧会

「水俣展」はすでに全国で二十四回開催され十四万人の入場者を得て各種メディアから高い評価を受けています。

生協関係者の案内で展示の説明を受けた参加者のひとり、
「加害企業チソンと被害者との公害問題に止まらず、メチル水銀が原因と知りながら工業化政策を推し進めた国の隠ぺい体質や、排水停止と謝罪を求める被害者への警察権力の抑圧、被害者へ様々な人権侵害など、原発問題と重なる部分が多くあり、深く考えさせられた。」と感想を話していました。(f)



思いおこせば、壮絶な病痛と疎外、それゆえの貧困の極みにありながら、果敢に声を上げていった方々のやさしさと巨きさによって、私たちは支えられ援けられてきたのではないのでしょうか。そうした方々の言葉にあらためて耳を傾け水俣病を問い直すことは、私たちがこれから先、どのように生きていくかを考える上で少なからぬ果実をもたらすことでしょう。水俣病に関するすべての表現、研究、記録をひもとき、状況に照らしてこれを再構築し、今を生きるすべての人に伝えたいのです。

水俣病発生の公式確認より半世紀をへて「水俣病」というべきものの開催です。この会場によみがえる水俣の言葉や表現、風景の一片でもご記憶の片隅にお加えいただければ幸いです。

水俣フォーラム

～水俣展開催趣意書より抜粋～



心のもったプレゼント 福岡市・高取保育園 ひまわり組の園児から



野菜生産者が毎日丹精込めて作った野菜や、納豆を給食に取り入れている、福岡市・高取保育園のひまわり組の園児から、かわいいお手紙と、手縫いのぞうきん・手作りクッキーが届きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました(#^.#)



「中山間地農業を守るために」

「地域の核として農協の役割を發揮」

国によるコメの生産数量目標の配分や直接支払交付金が廃止されるなど、平成三十年産以降の米政策見直しにより、ますます中山間地域での水田農業が厳しくなる中、今後とも農地を守り遊休地や耕作放棄地を防ぐにはどうしたらいいのか、また下郷農協の果たす役割は何か、組合長と組合員の農業委員・推進委員・地域の農業法人代表のみなさんに語っていただきました。



「中組集落はまとまりが良い」と話す
樋桶の郷代表の上原市策さん

鈴木 明けましておめでとうございます。司会役を務めます鈴木健久です。下郷農協組合長との新春座談会という事で、昨年七月に中

津市農業委員に任命された玉麻農夫男さんと農地利用最適化推進委員の鷹崎満行さん、樋山路地区の中組集落にある農業法人「樋桶の郷」代表の上原市策さんに、これからの地域農業について語って頂きます。最初に昨年一年を振り返ってどうだったか、どんな取り組みを進めたのかお伺いします。

組合長 昨年は全体的に生産者・生産量の減少傾向

産に励んでもらっています。米・野菜・酪農等を除き、各一名の生産組織という事で生産維持がさらに厳しい状況です。

そのような中、昨年は特に生産の拡大・販売力強化という点で「飲むヨーグルト」事業を進め、無事に完成する見込みとなりました。この事が今後生乳生産拡大につながり、農協全体の活力になる事を期待しています。そして農協が経営的にも体力をつけ、再生産可能な価格形成の確立を図り、後継者増につながればと思

います。

鈴木 農業委員の玉麻さんは、自ら設立した農事組合法人の代表としても取り組みまれているが如何ですか。

玉麻 法人設立から五年経ちますが、農業は天候に左右され、また無農薬での栽培は法人経営ではなかなか大変と感じています。ただ、農業自体やることは面白いし、準備から商品になるまでの経過や消費者から「美味しい」と言われる事が何よりの励みになります。

農業委員については、公選が廃止され市長が任命す

る仕組みに変わりました。私は下郷農協から推薦を頂き農業委員となりましたので、特にこの地域の農業・農地が維持されるよう頑張りたいと思います。

鈴木 続いて新しく中津市農地利用最適化推進委員になられた鷹崎さんに、自分の農業経営の内容を含めて自己紹介をお願いします。

鷹崎 私は「中津市認定農業者の会」の役員をしていた関係で、農業委員会から委嘱を受け推進委員になりました。中津・三光地域のいわゆる平野部の認定農業者と交流する中で、

いる平野部ではなかなか出来ない無農薬の特別な栽培方法で、この地域の活性化に生かせないか考えています。

農業経営については五年前に経営を息子に譲り、新たに水田を畑地化して多品目野菜の生産を中心に取り組んでいます。また、「親の農業をする姿を見て楽しそう」と、二年前に帰郷した娘が昨秋から本格的に農業に関わってきています。

鈴木 若い人がどんどん出ていく中で、親の姿を見て帰ってくるという事はすごい事です。こういう人が増えてほしいものです。

鷹崎 今考えているのは、特に水田はほとんど除草剤を使っているの、三〜四年の遊休地を探し出して、

地域の荒地防ごうと法人化

いかに条件不利地かを強く感じていましたので、推進委員を受けるにあたり平野部と中山間地域の条件差を、下郷農協がやって

そこを再生するための有機栽培に取り組む条件がだんだん整い、フィールドが出来てきた事は逆にチャンスだと思っています。一定の規模拡大が経費をかけずに出来後はマンパワーをどうするかになるので、若い人達のを借りないといけないのですが。

また、生産組合も個人で多品種を一貫生産していますが、決して合理化ではなくて例えば十坪単位ごとのローテーションで一品種に集約化し、耕運・畝立てや草刈りが出来る若い人に、あとは植付けや収穫作業・



「樋桶の郷」の中心的役員でもある
司会進行役の鈴木健久さん





「耕作放棄地は逆にチャンス!!」と語る推進委員の鷹崎満行さん

一・五畝ほどの作り方も取り組んでいます。今は移住者のご夫婦が納豆作りを頑張ってくれています。

二・七畝の稲作は完全無農薬栽培で行いますが、一番大変なのは除草

包装などを高齢者の人達にしてもらうなど、個々に出来る仕事を分業化で生産出来る体制を、どこかが核になってやればと思います。稲作については米政策が見直され、今後の助成対象が大規模化するところに限られ、中山間地は完全に切り捨てられる危機感があります。

鈴木

休耕田が増え地域が廃れる中で、集落として取り組んでいる農事組合法人「樋桶の郷」代表の上原さん、取り組みを紹介してください。

上原

当初は宮農組合でスタートし、平成二十三年に農地が荒れて行く事だけは防ごうと二十九名で法人化しましたが、人間は減っていき引き受ける農地は増えていく状況です。今のところ移住者に加勢してもらっているのですが、ほとんど農業に従事してもらう人が増えれば良いなと思っていますが、来た人達も商売をして自分たちの生活基盤を持たないといけないのでやむを得ませんが。そういう中で納豆作りを始め、環境保全型農業の無農薬栽培の大豆

一・五畝ほどの作り

付けも取り組んでいます。今は移住者のご夫婦が納豆作りを頑張ってくれています。

二・七畝の稲作

は完全無農薬栽培で行いますが、一番大変なのは除草

の問題で、田植え後一週間以内に除草機を一回すぐに入れ、一〜二週間目で二〜三回はしないと雑草が生えるので、初期除草が大事になります。

何とか頑張ってやっているが田んぼを作れない人が増えている状況で、今後どう法人を運営して行くかが課題です。農業の大切さと大変さを感じつつ、何年ずって行けるか分からないが、頑張らなければならないと思っています。

鈴木

下郷地域自体、集落営農や法人組織化の取り組みが他地区に比べて少ないと思います。集落内の高齢の方も「私のできる事ならするよ」と協力してくれるので、もっと広がればいいなと思います。安全・安心な農畜産物を買ってくれる



「地域農業・農地を守りたい」と話す農業委員の玉麻農夫男さん

鷹崎

消費者はたくさんいるので。販売先が不安定なのが一番きつい状態です。「買いますよ」と言うところがあると、まだまだ生産意欲は上がります。生産の場は意欲が無くなったらダメだと思います。

鈴木

しかし、現状では生産者・後継者がいないのが深刻な問題です。ある直売所でも生産者が高齢化していつまでガンガン出荷していた人がリタイヤしたら、後の五〜六十代の若い人が出さようになってくれない、後が続いていないから野菜生産が先き細つ



「地域の核として農業発展につなげたい」と語る矢崎組長

ていると話していました。

私たちの上の世代は農業や山仕事で生計を立てていたが、ちよつと下の世代になると賃金労働に出かけるパターンの人が多く、上の世代がリタイヤした後、さあ農業をやるうとして出来るかというとなかなか難しいところがあり、農業を引き継がない一つの要因になっている気がします。

玉 麻 将来不安で現金収入を稼ぎ貯めておかなければと言るのが一つあり、農業をやる時に殆ど農機具代も給与から突っ込んでいる状

態で、だから全ての農機具を個人で揃えて農業をやる気にならないのではないかと思います。

上 原 確かに法人の場合でも、稲作は年間の機械代や修理代も非常に大きいです。それでも農機具が無ければ農作業が出来ない状況です。

組合長 トータルすると家族農業など機械を買い替えようとしても助成金が対象とならず、大きく規模拡大する農業者には補助金が出ない制度に傾斜し過ぎています。以前は米価も食料政策の中で一定の下支えがあったからこそ、小規模の兼業農家もしっかりと稲作を続けられていました。家族農業が環境保全や地域に果たす役割などにもっと目を向けるべきで、先進国で自給率が四十%を切っている

る国は日本以外にないのも、そういった国の政策や考え方の表れです。

組織内の動ける人が分業化で

組合長 樋桶の郷では野菜生産には取り組まないのですか。

鈴木 意欲があつて中心になる人がいれば取り組むと思います。

鷹 崎 稲作は一年に一回の収穫ですが、野菜生産は極端に言えば毎日収穫が出来てやりがいがある農業なので、そういう意欲が湧くような環境を作り出すことが我々委員の使命でもあるし、その核となるのが下郷農協です。



鈴木 耕作放棄地が増え、逆に無農薬や有機農業での規模拡大をするチャンス

という話も出ましたが、農作物を作れば売れる先は一定あるという事を考えれば、後は生産者にいかに意欲を出してもらう環境を整えられるかという事になります。

玉 麻 これからは、組織化ではなくても生産組織の中で動ける人、いわゆる分業化で耕作放棄地等を指定し、集団で作業に入るなどしていけば、農地の保全に繋がると思います。個人では労働力の高齢化や作柄で生産力が不安定になり、消費者の要望に十分応えられませんが。

鈴木 農協の役割としてできる事は、耕作出来なくなった所に、耕作したいという意欲のある人を結び付けていく事も重要だと思いますが。

組合長 確かに既に耕作出来なくなった多くの農地が出ていますので、農協として

も農業委員・推進委員さんや地域の代表の方々と連携を図りながら対応していきます。

地域の核として役割発揮

鈴木 色々話が出ましたが、

一つは農業情勢は厳しいが国の姿勢に関わらず自分たちが出来る事をやって行けば、作れば売れる状況もあり耕作放棄地も逆にチャンスに繋げられるし、集落営農も個人事業主の取り組みではなく、おばあちゃんや移住者などの若い人達がちよつとずつ関われるやり方としてはいい方向という話もあり、そこに農協の果たす役割は大きいと思います。ここで、今年の抱負を今までの話しを踏まえ、農協が果たすべき役割について、組合長に伺います。

組合長

生産者確保・生産の拡大が緊急の課題となつて

いますので、農協が生産にどう関わって行くか具体化を進めます。農協によっては、独自に生産部門を専門に持ち農業生産を行う所もありますので、この地域の農協としてあるべき姿を検討します。

下郷農協は昭和二十三年に設立され今年七十周年を迎えます。一度も合併をせずにやってきた数少ない農協として、地域とともに何としても維持発展に努めます。

そうした中で、一部では若い世代が親の後を引き継ぐ動きもありますし、移住者との関わりは色々な点で展開していくので、さらに地域に向き交流を深めながら広い視野で下郷地域と農業の発展につなげていきたいと思えます。

併せて、この地域の協同組合組織として、多くの方々に大いに利用して頂き

たいし、地域の核として役割の発揮が出来る様、農協運営に取り組みます。

鈴木

今年には待望のヨークルト事業も稼働して、経営的にも改善できるといいですが。

組合長

一つ元気のある所が出来ると波及効果も出ますし、経営面でもプラス要因になって、何か行動を起こす時の強い原動力になっていきます。何より牛乳事業は農協の柱でもあります。そしてその中心に生産者があります。「牛乳で活気が出れば農協全体も活気づく」と私は信じています。その意味でも今年最大の取り組みとして、この事業を成功させたいと考えています。

鈴木

核として農協自身が元気になってくれることが、地域農業発展には一番だと思います。今日はありがとうございました。

陶cafeしきろ庵

築80年以上の古民家を手作業で改装し創った空間と、店主で陶芸家の末安心太さんの器に触れながら珈琲が楽しめます。

焼き菓子は、耶馬溪産の無農薬・無化学肥料栽培小麦粉や有精卵など、オーガニック素材を選んで使われています。

座談会あとに頂いたフレンチトーストは絶品でした。!!

・中津市耶馬溪町大字金吉862

Tel 090-7927-3161

10:00~17:00 火・金曜定休



材料 4人分

- ・冠地どり…………… モモミ1枚
(テバミでも美味しいですよ)
- ・カボチャ…………… 1/4
- ・にんにく…………… 1片
- ・小麦粉…………… 適量
- ・カレー粉…………… 適量
- ・塩・コショウ…………… 適量
- ・オリーブオイル…………… 適量

農協の食材を 使ったレシピ紹介

「かぼちゃと冠地どりの
スパイシー炒め」



- ① にんにくはみじん切り、カボチャは1cmの厚さにいちよう切りにする。冠地どりモモミは一口大に切って塩・コショウ・小麦粉・カレー粉をまぶしておく
- ② フライパンを温めオリーブオイルをひき、にんにくを炒め香りが出てきたら一口大に切ったモモミを入れ炒める。カボチャを加え炒め、蒸し焼きにする。
- ③ カボチャがやわらかくなったら、塩・コショウで調味して出来上がり!!

※とっても簡単にできます。蒸し焼きにするのでカボチャの甘みが引き出せます。

産直消費者会員さんよりレシピ提供いただきました。

こんにちは！デイケア元気村です

新年明けましておめでとうございませう。

今年も皆様にご満足して頂けるサービスが提供できるようスタッフ一同努力して参ります。

どうぞ今年もよろしくお願ひ致します。

デイケアでは、十一月十七日に防火訓練を行いました。

火災発見から初期消火、利用者様の避難まで五分以内で行うことができました。

空気がとても乾燥していますので、皆様も火の取り扱いには十分お気をつけください。

また、地震体験車にも乗ることができました。震度七の揺れをスタッフが体験しました。

前後、左右、上下と三方向に揺れ、何かにつかまっていなると振り落とされる程でした。

とても貴重な体験をさせていただきました。

みなさんも、いざ地震が発生した時は慌てずに安全確保を行ってください。

【1月の体験利用日のお知らせ】

- ・1月17日(水) 10時~16時
(1日でも数時間でも可。別日でも相談に応じます。)
- ・料金…昼食代411円のみ
*1週間前までに予約をお願い致します。

送迎もできますので、予約の際にお知らせください。

お問い合わせなど、お気軽にご連絡ください。
デイケア元気村

56-2385



消防署の地震体験車で震度7を体験

伊福から下郷の歴史を探る その六「山田の大石から」

前号の伊福で生まれ育った女性に聞いた「山田の大石は子どもたちの遠足の定番だった」という話から、筆者は「山田の大石」を知り、そこから見える「まるで袈裟を着た僧侶のような岩」や「積木の人形のような岩」に圧倒され、「かつては裏耶馬溪から珍珠の鳥屋なども経

由して深耶馬溪の麗谷へとつながる遊歩道があったこと」などがわかってきて、またも山田の大石あたりに迷い込んでしまった。

山田の大石は、伊福から深耶馬へ抜ける農道をしばらく上り、左への急カーブに人工トンネルと峰氏の別荘があり、そこから右へ林道に入ったところにある。

この「僧侶の岩」の近くまで登ってみたくなり、歩いていくと一枚岩の谷に岩を削って歩きやすいようにした階段や、遊歩道と書いた看板も倒れている。

僧侶の岩の下には、人工的に造ったような隙間のある岩がある。そして、僧侶の岩の裏側はどのような形をしているのか、気になってしかたがなくなり、また裏側の山へ登る暇人であった。

本号をもって「伊福から下郷の歴史を探る」を終え、新章へ入る予定であったが、新しい発見があるので、まだまだ続く。



左が僧侶の岩。右が積木人形の岩（筆者命名）



僧侶の岩を裏側から見た（不気味である）



僧侶の岩の真下にあるすきま石



遊歩道の岩を削った階段



百人乗れるといわれた山田の大石



ベランダでできるキッチンガーデン

カブ(アブラナ科アブラナ属)

土壌医●藤巻久志

聖護院カブと聖護院ダイコンは、どちらも白く大きな丸形で、とても似ています。聖護院カブはアブラナ属で菜の花の仲間ですから、花は黄色です。聖護院ダイコンはダイコン属に多い白い花を咲かせます。カブの肌はツルツルですが、ダイコンの肌にはひげ根の跡があります。

カブは大カブ、中カブ、小カブがあり、色で白カブ、赤カブ、青カブがあります。日野菜カブや津田カブのように細長いカブもあります。在来種も数多くあります。

ベランダで大カブの聖護院カブを作ると、一つのプランターでは2、3個しか収穫できません。プランター栽培では早生の金町系の小カブが適しています。

カブはシードバーナリゼーション(種子春化)型といって、種が発芽したときから低温に感応して花芽を分化します。その後の高温と長日によってとう立ちは促進されます。1〜2月でもプランターにビニールトンネルを掛けて保温すれば栽培できますが、とう立ちの心配の少ない3月下旬から種まきしましょう。

深さ15cm以上のプランターに市販の培養土を入れ、条間10cmに深さ5mm程度の溝を付けて筋まきします。

薄く覆土し、表土を軽く押さえ、種が流れないようにジョウロでたっぷり水やりします。

発芽して双葉が開いたら、生育の遅い物、徒長した物を間引きします。順次間引きして、本葉4〜5枚までに株間を10cmにします。間引いたものはみそ汁の具などに利用できます。

カブに日が当たると、きれいな白色にならないので、土寄せか増し土をします。追肥は水やりを兼ねて、1000倍の液肥を1週間に1回の割合で施します。

直径4〜5cmになった物から収穫していきます。収穫の遅れは、す入りが裂根の原因になります。

カブの花言葉は「慈愛」です。優しい食感を浅漬けやしチューなどにしてお楽しみください。



人事異動

【採用】

十二月一日付けで小河紗也加(町内出身)を採用、管理部へ配属しました。

理事会だより

十一月二十九日、第八回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

報告事項

- ①集落常会開催結果概要について
- ②監事監査実施結果概要について
- ③固定資産取得について
- ④第六十一回下郷農協まつり開催結果概要について

第一号議案

報告事項の集落常会開催結果概要については、十月二十五・二十六日一斉に開催された集落常会の出席者等の開催状況や、集落別に出された意見・要望の取りまとめ内容が報告されました。固定資産取得については、理事会で承認を受けていた農協本所施設と隣接する住宅および宅地の売買・登記手続が完了したことや、老朽化に伴うマイクロバス購入について報告されました。

第一号議案の十月決算承認の件については、事業利益△三、三三四千円の計画に対し△一三、八六一千円で一〇、五二七千円の未達成となりました。事業利益は計画対比で、収益部門のうち共済一、一〇三千円・牛乳六九七千円・貸付二八一千円等が達成、惣菜三、二五四千円・購買二、一九五千円・販売二、一一九千円・診療所一、八一七千円・販売商品一、六二六千円等が未達成となりました。

第二号議案の外部出資の減資申請については、ヨークルト事業に係る固定資産取得に伴う自己資金の調達のため、系統組織に払込している外部出資の減資申請について付議・承認を受けました。

読者プレゼント

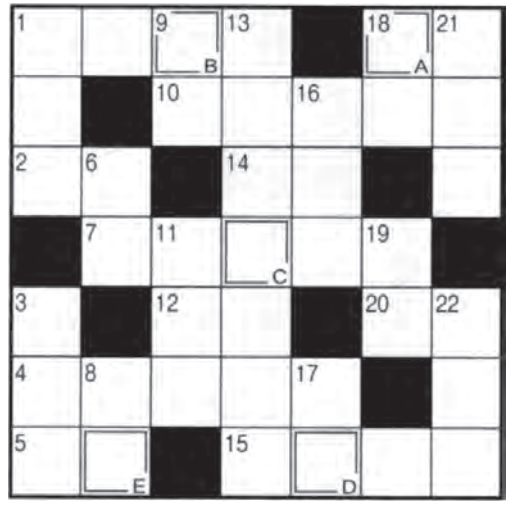
パズル?

頭の体操



Q 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?
 タテのカギ

- 1 画数を意識して付ける人もいます
- 3 歯を抜くときにかけます
- 6 乗り物を使わない移動手段
- 8 マグロの身のうち脂の多い部分
- 9 木偏に南と書くと
- 11 読みかけの本に挟む物
- 13 運転席の横にあります。自動車を止めておくときに引きます
- 16 手荒れ防止に——クリームを塗った損の反対語
- 17 秒と時の間
- 18 「領収書の宛名は?」「——様でお願いします」
- 21 芸能人のサイン——が飾られた店
- 22 雨交じりの雪のこと



先月号のこたえ



先月号のこたえ 「トルコイシ」
 当選者
 仙台市 大木 れい子 様

ヨコのカギ

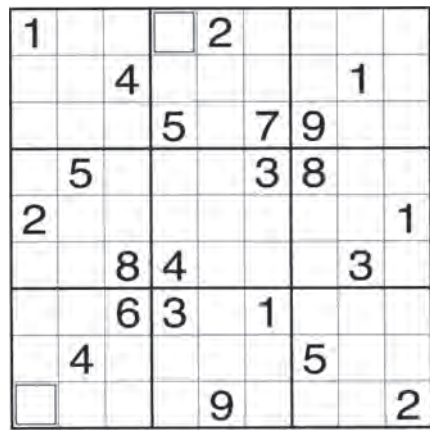
- 1 セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ……といえ
- 2 平成30年は戊戌(つちのえいぬ)です
- 4 通りのこと。メイン——
- 5 白黒写真からは伝わらないもの
- 7 レーズンと呼ばれることも
- 10 米と水を入れてセットします
- 12 男性の方がよく使う一人称
- 14 ベトナムの通貨単位
- 15 襟が緩んだり帯がほどけたり
- 18 竹の幹にできる区切り
- 20 彼女は満面の——を浮かべた

先月号のこたえ

5	6	1	4	3	8	7	9	2
9	3	8	2	7	6	1	5	4
2	4	7	5	1	9	8	3	6
3	1	4	7	9	2	6	8	5
8	5	2	1	6	4	3	7	9
7	9	6	3	8	5	2	4	1
1	2	5	8	4	7	9	6	3
6	8	3	9	5	1	4	2	7
4	7	9	6	2	3	5	1	8

先月号のこたえ ⑥+⑧=14
 当選者
 豊後大野市 後藤 麻由子 様

解答は次号で



Q 《数独のルール》
 ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
 ②タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

数独 (すうどく)

応募方法

クイズの正解者の中から抽選でそれぞれ一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募締切は二〇一八年一月二十日(必着)です。

- ① クイズのこたえ A B C D E (パズル? 頭の体操の場合) クイズのこたえ 数字の合計 (数独の場合)
- ② 住所・氏名・電話番号
- ③ 下郷農協へのご意見ご要望など以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七九一〇四三一

大分県中津市耶馬溪町 大字大島 二一五一四
 下郷農協 企画部 宛
 Faxの方は
 ○九七九一五六―二八八九

*個人情報他者への開示は一切致しません
 が当選者のみ紙面で公表させていただきます。

当選者には農協商品をお届けします。

一枚のハガキ・FAXで
 どちらにも応募できます!!

下郷のHPの
 応募フォーム
 から応募
 できます。

